

## 第21回 総合防犯設備士資格認定試験問題

### A問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

### A 問題－1（セキュリティについて） 解答例

安全で平和な生活と組織活動を継続するための資源であり、財産であるリソースを記入例にならって五つ記せ。

| 番号 | 分類  | リソース                               |
|----|-----|------------------------------------|
| ①  | 無体物 | 信用                                 |
| ②  |     | 権利(財産的価値のある権利でも可)                  |
| ③  |     | 情報(プライバシーを含む財産的価値のある情報でも可)         |
| ④  | 有体物 | かね(金)                              |
| ⑤  |     | ひと(人、人材、人名などでも可)                   |
| ⑥  |     | もの(貴重品、関連施設、システム、施設、資材、原料、製品などでも可) |

### A 問題－2（セキュリティについて） 解答例

セキュリティマネジメントの定義及び意義・効果の内容について記せ。

|   |
|---|
| <p>&lt;定義&gt;</p> <p>セキュリティポリシーに基づき、リスク又は被害発生原因として想起される脅威の列記、各脅威に対するぜい弱性と発生頻度の分析と評価、対策が必要なリスクの明確化及びその結果を考慮した総合的対策を行うことをいう。</p>  |
| <p>&lt;意義・効果&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セキュリティマネジメントは、リスクの結果として生ずる被害について、その予防、回避、最小化、再発防止及び迅速な復旧・補填を図ることによって社会的責任を遂行するための経営手法の1つである。これは、最小の投資で最大の効果を追求することでもある。</li> <li>・セキュリティ活動は、製造活動や販売活動のように直接的に収益をもたらすものではない。しかし、この活動を適切に行うことによって、経済的損失の防止、回避、最小化などが可能になるため、安全で平和な生活と組織活動の継続の確保に貢献するのである。</li> </ul> |

## A 問題-3 (防犯の理論)

## 解答例

犯罪を防ぐ研究は、古くから社会学の分野で行われてきた。その大きな流れとして犯罪者自身に焦点を当てた犯罪原因論とよばれるアプローチと、犯罪が発生する環境に焦点を当てた犯罪機会論とよばれるアプローチがある。それらの研究のうち現在の防犯対策の基礎となっている犯罪機会論に関する理論名を四つ挙げ、記入例にならって空欄を埋めよ。

|   |           |
|---|-----------|
| ① | 状況的犯罪防止理論 |
| ② | 防犯環境設計    |
| ③ | 合理的選択理論   |
| ④ | 守りやすい空間   |
| ⑤ | 日常行動理論    |
| ⑥ | 割れ窓理論     |

## A 問題-4 (防犯対策の考え方)

## 解答例

|  |                    |
|--|--------------------|
| 犯罪企図者などの部外者の存在が不自然に見え、社会的に抑止が働くような雰囲気を作ること | 領域性の確保(領域性の強化)     |
| 侵入口となる窓や出入口が突破されないように強化すること                | 対象物の強化(被害対象の強化・回避) |
| 犯罪企図者が見られている状態を作ること                        | 監視性の確保             |
| 侵入口となる部分に容易に近づけないようにすること                   | 接近の制御              |

## A 問題－5（防犯設備の構築）

## 解答例

|   |                                  |
|---|----------------------------------|
| ① | 防犯設備の運用にあたって利用者に不便を強要することはないか？   |
| ② | 侵入警報システムの警戒の開始/解除の操作で誤操作の恐れはないか？ |
| ③ | 出入管理システムにおいて、共連れ防止等に配慮されているか？    |
| ④ | 管理室での日常操作は、的確かつ効率的に行えるか？         |
| ⑤ | 停電や火災などの非常時に対する対策はできているか？        |
| ⑥ | 清掃やごみ収集などの建物の維持作業に対する配慮がなされているか？ |

## A 問題－6（防犯設備の設計）

## 解答例

|              |   |
|--------------|---|
| 撮影対象場所       | 通達や条例、関連団体などによる基準などで推奨されている場所、防犯診断で判明した犯罪企図者が狙いそうな防犯上脆弱性がある場所、依頼主の意向で設置が要望されている場所等                                  |
| 設置場所         | 撮影対象が的確に撮影でき、撮影に対する妨害やカメラへの破壊工作などにも十分配慮して設置する   |
| 撮影目的と画角の選定   | 日本防犯設備協会の画角の選定に準拠し撮影目的に合った画角を選択する   |
| 防犯カメラの選定     | 全ての防犯カメラは RBSS 共通機能を満足する能力を有することが望ましい<br>暗い場所や逆光状態への対応、妨害工作への対応など必要な機能を備えたものとする<br>撮影場所の照度や求める解像度などを満足する性能を有したものとする |
| デジタルレコーダーの選定 | 撮影目的を実現できる記録レート、記録する画質と画像サイズ及び記録時間など実現できる機能・性能を有したものとする   |

**A 問題－7（総合防犯監査1）**
**解答例**

|   |                |
|---|----------------|
| ① | 独立かつ専門的な立場の監査人 |
| ② | 勧告または提言        |
| ③ | 防犯設備の不備        |
| ④ | 維持向上           |

**A 問題－8（総合防犯監査2）**
**解答例**

|   |  |
|---|--|
| ① | 依頼主とはパートナーとして、同じ立場、同じ視点に立ち、目的・課題を共有する。                                     |
| ② | 必要に応じて、ポリシー策定、運用管理体制立ち上げ、利用者教育などのソフト面の提言も行う。                               |
| ③ | 提案する課題解決策は、経済的、時間的、人的面を含めて実現可能でなければならない。                                   |
| ④ | 依頼主には、集合住宅、空港などの公共施設、地方自治体、地域住民団体なども想定されるため、日頃からこれらにおける防犯対策の特性などの理解に努めること。 |

## A 問題—9

## 解答例

|   | 犯罪企図者の脅威          | 推奨する設備や建物部品                                    |
|---|-------------------|--|
| ① | 人の「目」に付くこと        | 防犯カメラ  |
| ② | 侵入に「時間」がかかること     | ドア、錠、ガラス、サッシ、窓シャッター、<br>面格子、重量シャッター等の CP 建物部品等 |
| ③ | 夜間等では、「光」に照らされること | フラッシュライト、回転灯、投光器、センサー付きライト<br>等                |
| ④ | 大きな「音」を出すこと       | 電子サイレン、モーターベル、電磁ベル、電子ブザー、<br>モーターサイレン、音声威嚇器等   |

## A 問題—10

## 解答例

|   | 防犯用レコーダー、防犯カメラ等のインターネット電子機器不正攻撃に対する対策                        |
|---|--|
| ① | 個別機器のセキュリティ情報の確認、絶えず最新の状態とする                                 |
| ② | アクセスコントロール強化、アクセス可能な端末制限、機器使用者や管理者の限定、<br>外部の不要なアクセスの制限      |
| ③ | カメラシステムにパスワード設定  |
| ④ | 管理者を特定する   |
| ⑤ | IP アドレスの管理徹底   |
| ⑥ | デジタル認証の導入  |
| ⑦ | 機器の動作確認等は記録を残す   |
| ⑧ | 外部攻撃に備えセキュリティソフト採用   |
| ⑨ | 外部未認定ソフトを機器に採用にしない、<br>電気通信事業法のセキュリティ基準に係る認定機器か確認、未認定機器の使用禁止 |
| ⑩ | 保守時間を限定、管理する   |
| ⑪ | セキュリティ機器の施工は、専門知識のある会社へ依頼する                                  |
| ⑫ | 非常時対策や復旧対策の準備・教育   |